

補助事業番号 20-114

補助事業名 [平成 20 年度水資源の有効活用のための研究開発等補助事業](#)

補助事業者名 財団法人造水促進センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

水資源の有効利用により環境負荷の軽減と循環型経済社会の促進を図るため、廃水の再生利用や海水の淡水化等造水・排水処理技術に関する先端技術の開発および実用化事業を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

### (2) 実施内容

#### ① 環境保全に資する造水技術の可能性調査

##### [ア. 中東地域における海水淡水化需要調査](#)

5月29日に第1回委員会を開催し、本年度の調査内容等についての検討を行った。

海外現地調査として、カタール調査2回及びバーレーン1回を行った。調査では、現地の水道施設関連団体等を訪問し、今後の海水淡水化の需要計画及び淡水化施設の建設計画等の情報を収集するとともに、カタールにおいて当財団が実施した逆浸透法海水淡水化実験の結果を紹介し、逆浸透法が信頼性のある技術であること説明した。

また、国内調査として、国内の海水淡水化の有力企業を訪問し、中東地域に対する海水淡水化販売戦略について調査した。

#### ② 造水技術の技術開発

##### [ア. PTFE膜MBRによる下水の再生処理技術開発](#)

9月4日に第1回委員会を開催し、本年度の実験計画について説明を行うとともに、実験場所は、札幌市創成川の北海道大学環境ナノ・バイオ工学研究センターとし、運転管理等についても同大学に委託して実施することを了承された。

また、MBR装置の改造の詳細内容及びモジュールの製作(親水性膜、疎水性膜)、水質分析項目などに関する打合せを行うとともに、北海道大学との共同研究契約の手続きを行った。

本年度の研究においては、モデル下水を用いて平膜によるファウリング挙動の試験と、実際の下水によるPTFE膜モジュールによるMBR実験との2種類の実験を行った。

#### ③ 造水技術の普及・技術協力

##### [ア. インドネシアからの技術者招聘等](#)

工場の水使用合理化及び工場排水処理の分野で東南アジア地域への国際交流を深めるため、平成21年2月22日から2月26日迄インドネシアから研究者1名を招聘した。

インドネシアの環境問題とその対策について、当財団の会員を対象にした講習会を開催するとともに、水処理エンジニアリング会社数社を訪問し、日本の水処理技術の紹介をした。また、当財団とインドネシア政府との技術協力プロジェクトの計画について意見交換を行い、今後バイオディーゼル等エネルギー回収を組み込んだ廃水処理技術の分野で協力していくことを確認した。

## 2. 予想される事業実施効果

本補助事業の成果が今後広く普及することにより、水処理装置および環境装置等造水関連機械の導入が増加し、機械振興に寄与することが予想される。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

平成20年度中東地域における海水淡水化需要調査報告書 100部  
平成20年度P T F E膜M B Rによる下水の再生処理技術開発報告書 100部

## 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人造水促進センター(ゾウスイソクシンセンター)

住 所： 郵便番号 103-0003

東京都中央区日本橋横山町4番5号 福田ビル 4F

代表者： 理事長 島川 文雄(シマカワ フミオ)

担当部署：総務部(ソウムブ)

担当者名：総務部長 中村 俊治(ナカムラ トシハル)

電話番号：03-5644-7565

F a x： 03-5644-0686

E-mail：[zosui@wrpc.jp](mailto:zosui@wrpc.jp)

U R L：[www.wrpc.jp](http://www.wrpc.jp)